KITAGIN NEWS RELEASE 2024

2024年3月26日

各位

株式会社 北日本銀行

きたぎん SDGs 経営サポート Progress (発展版) 策定支援について ~株式会社ロジカルバリュー・コミュニケーションズ~

株式会社北日本銀行(頭取 石塚恭路)は、取引先企業さまの SDGs への取り組みを評価分析し、SDGs 経営を支援する「きたぎん SDGs 経営サポート」を取り扱っております。この度、本サービスのうち Progress(発展版)を通じて、株式会社ロジカルバリュー・コミュニケーションズ(代表取締役 菊池龍児)が SDGs 経営ストーリーを策定されましたので、下記の通りお知らせいたします。 今後とも当行は、取引先企業の SDGs の取り組みを支援し、持続的な地域社会の実現に貢献して

記

1. 会社概要

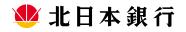
まいります。

| 会 | 社 | 名 | 株式会社ロジカルバリュー・コミュニケーションズ | |
|---|-----|---|--|--|
| 所 | 在 | 地 | 〒031-0821 青森県八戸市白銀 4 丁目 10-1 | |
| 代 | 表 | 者 | 代表取締役 菊池 龍児 | |
| 業 | | 種 | 新エネルギー関連事業 | |
| 会 | 社 概 | 要 | 当社は、新エネルギーを活用した新しい発電施設の提供を主力業務としております。石炭や石油、天然ガスといった資源を消費することなく、CO2 排出量を抑えながら電力を賄え、クリーンなエネルギーの確保・供給により気候変動対策や低炭素社会の実現への貢献を目指しております。今後も追加で新たなる自社太陽光発電施設の設置・運営を積極的に行う事により、更なる貢 | |
| | | | 献を果たしていきたいと考えております。 | |









〒020-8666 岩手県盛岡市中央通1-6-7 TEL: 019-653-1111 (代表) https://www.kitagin.co.jp/

KITAGIN NEWS RELEASE 2024

2. 未来に目指すインパクト

未来に目指す インパクト 付加価値:企業価値の確立

生産価値: 低炭素社会実現への貢献

地域価値:地域活性化

貢献する SDGs17 目標 7 エネルギーをみんなに もしてクリーンに

8 傷きがいも 経済成長も









3. きたぎん SDGs 経営サポートについて

取引先企業さまの SDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)への取り組みを促進するため、取引先企業さまの SDGs の取り組み状況を確認し、優先課題を決定した上で、目標設定を行うこと (Basic:基本版)、また、サプライチェーン分析による事業活動の流れと SDGs 貢献度を分析し、未来志向の目標設定 (Progress:発展版)をお手伝い致します。

以上

[本件に関するお問い合わせ先]

営業統括部 事業コンサルティング室(担当:小瀬川) TEL:019-626-6529

〒020-8666 岩手県盛岡市中央通1-6-7 TEL: 019-653-1111 (代表) https://www.kitagin.co.jp/

2023年度

SDGs経営ストーリー













2024年3月





株式会社 ロジカルバリュー・コミュニケーションズ

1. 経営ビジョン

経営理念

当社の特徴

敬天愛人

~敬天愛人の心を常に胸にし、たゆまぬ努力をすること で、必ず道は開かれる~

共同開発能力

×

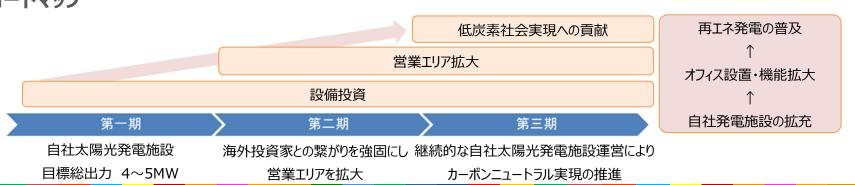
営業機能·能力

- ■業界大手企業との連携
- ■人脈を活かした営業活動と営業エリアの拡大

事業ビジョン

| 3つの方針 | 事業戦略 | 期待する効果 | |
|-------|--------------|----------------|--|
| 事業方針 | 自社太陽光発電施設の拡充 | 経営基盤の確立 | クリーンエネルギー発電による環境へ の配慮 |
| 事業方針 | 営業エリアの拡大 | 売上増加 | 地域開発への貢献 (国内外投資家とのマッチングや 地方遊休土地の活用支援等) |
| 環境方針 | 低炭素社会実現への貢献 | クリーンエネルギー発電の普及 | SDG s 活動への直接的貢献 |

ロードマップ



2. SDGsインパクト

事業活動

社会的インパクト

| | Activity(活動) | > Output(結果) | Outcon | ne (成果) | Impact(効果) |
|------|-----------------------|----------------------|----------|-----------|-----------------|
| 付加価値 | 設備投資による インカムゲインの創出 | | 内部留保の確保 | 福利厚生の拡充 | 企業価値の確立 |
| 生産価値 | 再エネ発電の提案 | 売上増加 クリーンエネルギーの普及 | CO2排出量減少 | 電力不足への対策 | 低炭素社会 実現への貢献 |
| 地域価値 | 地域産業への貢献 | | 外部投資家の参入 | 地方遊休土地の活用 | 地域活性化 |















[前提とする考え方]

- 自然エネルギーを利用したクリーンな発電を提案し、それらに関わるトータル的な企画立案・実行支援を行う
- 資源消費、CO2排出量を抑制しながらクリーンなエネルギーの確保・供給を行い、気候変動対策や低炭素社会の実現への貢献を目指す

3. マテリアリティ(重要課題)

具体的目標・取り組み内容

| 環境の保全 | 従業員の働きがい | 地域社会への貢献 | コンプライアンス・ガバナンス |
|---------------|--------------|--------------|----------------|
| エネルギー使用量の削減 | 従業員の体の健康保持 | 地域金融機関との連携 | コンプラ体制の構築 |
| 再生可能エネルギーの活用 | 休暇の取得奨励 | | 業務効率化や生産性の向上 |
| 製品における資源使用量削減 | 多様で柔軟な働き方の推進 | 地域のSDGs意識の向上 | デジタル技術の活用 |

5年後のきたぎんSDGs経営サポート診断結果目標

 総合評価
 A

 SDGs戦略・推進
 A

 環境の保全
 B

 従業員の働きがい
 A

 地域社会への貢献
 B

 コンプライアンス・ガバナンス
 A

